

新型モジュール
式シェルター

メタルプロダクツ が設計図書完成

ウクライナ
復興で活用へ

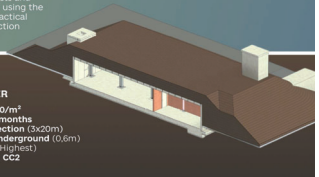
ウクライナ復興を支援する軽量鉄骨加工メーカーのメタルプロダクツ（本社・山形県真室川町、社長・渡邊進氏）は、ウクライナの専門設計事務所「Poltava-Project」（ポルタヴァ・プロジェクト）と共同で、ウクライナ建築基準法に完全準拠した新型モジュール式シェルター「写真」の設計図書を完成させた。SRC（鉄骨鉄筋コンクリート）造によ

SEMI-UNDERGROUND SHELTER WITH PREFABRICATED STRUCTURES

Design that minimizes excavation to lower costs and speed up deployment, using the surrounding soil for practical blast and debris protection

SOLUTION: MODULAR ANTI- RADIATION SHELTER

- Market cost: ~\$1,300/m²
- Construction: ~7-8 months
- Modularity: 60m² section (3x20m)
- Placement: Semi-underground (0.6m)
- Shelter Group: P-1 (Highest)
- Consequence Class: CC2



るシェルター設計はウクライナ国内初で、今後のウクライナ復興で広く活用する体制を整えていく。

ウクライナでは現在、学校・病院・行政施設などの公共施設を新設する際、法律でシェルターの設置が義務化されているが、建設費や工期の長さなどが

課題となっていた。

同社が開発したモジュール式シェルターは「工場製作×現地組立」の日本式プレハブ工法を応用し、建設コストの大幅削減と工期短縮を実現。60平方メートルで拡張可能なモジュール構造となっており、150・250・500人の3形式を標準化した。

渡邊社長は「公共施設の建設が進むこれらのウクライナにおいて、シェルターは必ず検討すべき重要なインフラ。本設計が広く知られ、必要とする自治体・企業・国際機関に活用されることを願っている」としている。

